

第8回太郎川公園再生検討委員会 議事録

日時 : 令和4年3月4日(金)13時30分～

場所 : ゆすはら・夢・未来館 大ホール

出席委員: 10名(空岡則明、上田末喜、長山和幸、森山真二、上田知子、山口眞知子、
石川清利、田村俊夫、明神哲男、アウテンボーガルト陽平)

欠席委員: 2名(和田紗代、那須絵梨)

事務局他: 吉田尚人、大川真一郎、山本和正、田尾由紀、笛木保志、立道斉、来米修作

・開会

【空岡委員長】

皆さん改めましてこんにちは。朝晩まだ寒い日が続いておりますけれども、屋中はなんとなく春めいた日を感じるようになりました。あと、半月、一カ月もすればですね、太郎川の桜も満開になるんじゃないかなというような思いもして、まあどんなもんじゃろうかと思って、通ることがございます。

昨年、10月20日に町長より諮問を受けまして、この検討委員会を立ち上げ、それからこの会まで7回にわたって皆さんに協議をしていただきました。その中で途中、また大幅な変更等ございまして、委員の皆さんも中々気持ちの整理が付かないというような状況などもあったかと思っておりますけれども、町民の気持ちを考えた時にですね、やはり太郎川を再生しながら、ホテルと共に観光客を呼びながら、地域の方もあそこで楽しめるような再生をしたいという思いは変わっていないんだろうという思いを私は強く持っております。まあそんな中で、皆さんから本当に忌憚のない立場の意見をいただきまして、前回の会において、一応、私の方が出した答申案というものをですね、皆さんに修正をしていただき、答申案が完成をいたしました。なかなか今すぐ目を通して、これをどうこうということをできませんけれども、この案を持ってですね、町長に答申をすることを皆さんにご了解をいただきたいという風に思います。これからですね、この答申に基づいてまた町の方も検討していただくことになろうと思います。私共も町民の一人としてですね、今後の推移を見守っていきたいという風に思いますので、皆さんのご協力を改めてお願い申し上げて開会のあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

【大川課長】

ありがとうございました。続きまして、答申書の方の手交を行いたいと思いますので、空岡委員長と吉田町長は前の方へお願いいたします。

【空岡委員長】

梶原町長 吉田尚人様。梶原町太郎川公園再生検討委員会 委員長 空岡則明。新たに建設する、雲の上のホテル、レストラン、道の駅についての施設規模等に関する検討について答申、令和3年10月20日付け梶第5990号で当委員会に諮問のあった、新たに建設する、雲の上のホテル、レストラン、道の駅についての施設規模等に関する検討について、下記の趣旨のもと、別添答申書のとおり答申いたします。なお、当委員会の意見が、今後建設される雲の上のホテル、

レストラン等の設計に可能な限り反映され、住民の方に十分な理解が得られると共に、誇りや親しみを持たれる施設にされることを強く望みます。記、趣旨、施設規模については、整備手法、敷地面積、将来の町の人口や交流人口、雇用される従業員数などの要因から、現状で一概に結論を出すことは難しいと考えられます。ただし、今後の梶原町の将来を見据えたとき、過大な施設規模とならないよう、熟慮のうえ、検討するよう提言します。詳細につきましては、別添答申書のとおりです。なお、検討委員会への諮問事項は、新たに建設する雲の上のホテル、レストラン、道の駅についての施設規模等に関する検討についてでありましたが、検討する過程において太郎川公園の再生事業全体に対する意見も出ており、これらの意見を検討事項資料として添付しますので、このことについても再生事業の実施にあたり検討していただく事項として特に配慮をお願いいたします。以上です。よろしくお願いいたします。

【吉田町長】

ありがとうございます。どうもありがとうございます。

【大川課長】

続きまして、町長よりご挨拶を申し上げたいと思います。

【吉田町長】

はい、皆さん改めましてこんにちは。本日は年度末を間近に控える中で、何かとお忙しい中、そしてまた、日中のこのお仕事の時間中に、こうした答申の場をつくっていただきまして本当にありがとうございます。いよいよこの梶原にも春の歩みが聞こえてきたところですが、一方で東ヨーロッパの方では大変な事態にもなっておりますし、新型コロナウイルスの感染拡大の方も未だに猛威を振るっているところでございます。そうした中で、先ほど空岡会長さんの方からお話をいただきましたように、10月20日に皆さんにこの雲の上のホテル・レストラン、道の駅の施設規模等について、ご審議、ご検討賜るようお願いを申し上げ、それ以来、空岡委員長さん、田村副委員長さんを中心にですね、本当にこう、精力的に、これまで議論を重ねてきていただいたことに心から感謝を申し上げる次第でございます。誠にありがとうございます。

そうした中で、この1月に、1月24日に、隈事務所の方から26億円の予定であった建設費が39億円になっているというような提示がございました。そうした中で、やはりこのままでは財源手当てができない、そして、仮にそれを縮小したとしても皆さんが望まれる、楽しみにされる、そして外から来た人が楽しんでいただける、そういった施設になることは非常に難しい、不可能であるという風に判断をして、全面的に見直しをさせていただくこととしたところでございます。そのことを皆さんに出来るだけ早くと思って、お伝えをさせていただきまして、今の答申を仕上げていただいたところでございますが、本当にこの間、さまざまな状況の変化の中ですね、皆さんにはご苦労お掛けしましたことを心からお詫び申し上げたいと思います。私はこの太郎川公園の再生事業そのものは、この梶原町が子や孫の世代にしっかりと持続的な町として、自立した町として繋がっていく

ために、今、どうしても取り組まなければならない事業であるという風に考えているところでございます。私は町民の皆さんが誇りと自信を持って心豊かに暮らせる町づくりを進めていきたいという風に申し上げてきました。そうした中で、この太郎川公園が皆さんの誇りや自信を感じられる機会やそして心豊かな暮らしを味わえる場となるように、より良いものにしていきたいという風に思っているところです。そうした中で、これまでの皆さんのさまざまなご意見をお聞きすることができ、そして今回、この答申に盛り込んでいただいておりますこと、これをしっかりとこれから生かしながら、出来るだけ早い時期に皆さんのご期待に沿えるように、この橋原の未来に向けての投資がより良いものとなりますように取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも、どうかご指導、ご鞭撻賜りますようによろしくお願いを申し上げまして、本日、答申をいただきましたことに対するお礼の言葉とさせていただきます。本当に長い間ありがとうございます。

【大川課長】

・事務連絡

それでは閉会にあたりまして、田村副委員長の方から一言ご挨拶をお願いいたします。

【田村副委員長】

皆さま改めましてこんにちは。申し訳ございません。私、会場に来て急に最後の挨拶をせよと委員長から言われましたので、なんにも考えてなかったんですけれども、ひとまずですね、6カ月あまりですね、毎回ご参加いただいて本当にいろんな討論をしていただいて、お疲れさまでしたと、まずは申し上げたいと思います。まああの、私事ですけれども、ほんとに根が単純な男なんで、大変皆さんに失礼なことも多々述べたかと思っておりますけれども、討論の中ではですね、まあ単純ないけいけどんどんの話からですね、非常に細かいところまで目を配られたご意見も出たかと記憶しております。よって、あのこれは本当に、これも私事になるかもしれませんが、町民の意見というのはある程度、すくい上げられたんではないかなという風に思っておりますので、町長におかれましてはですね、まあ今後についてはもう皆さんの意見としては一日も早くホテルを建設してほしいという意見でまとまっておりますので、後々いろんな雑音もひょっとしたら出てくるかもしれませんが、ひとまずはですね、建設に向けて邁進していただければと思います。本当に皆さん、半年あまりお疲れさまでした。ありがとうございました。

・閉会